

2026 年 2 月 2 日

AI を適用したソフトウェア開発の効率化・品質向上のためのテストツール
～ZIPC MLTEST Code Check をリリース～

株式会社NTTデータ オートモビリティ研究開発研究所

株式会社NTTデータオートモビリティ研究開発研究所(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長 CEO:坂本 忠行 以下、ARC(アーク))は、AI テスティングツール ZIPC MLTEST Code Check(ジップシー エムエルテスト コード チェック)を2026年2月2日よりリリースします。

今後、ソフトウェア開発における効率化・品質向上のためのテストツール群を ZIPC MLTEST シリーズにラインアップして提供していくことで、ソフトウェア開発に寄与します。

ZIPC MLTEST Code Check の概要・特色

ZIPC MLTEST Code Check は、ARC が研究開発した独自の機械学習モデルです。ソフトの変化点から不具合の可能性の高い関数を予測します。予測結果をもとに品質の予兆検知、製造工程での品質監視・定量判断を行うことができます。

インプットデータは「Git/SVN 等のソースコードコミット情報(不具合修正前後のソースコード情報)」とです。お客様のコミット情報を収集し、弊社で編集のあった関数の情報(コミットレベル、ファイルレベル、関数レベル)のデータセットを生成します。データセットで取得した情報のうち、編集後関数の内容を入力として、その関数に不具合が含まれるかどうかの予測を行います。ZIPC MLTEST Code Check はお客様専用モデルを構築し、提供します。

運用フェーズでは、ZIPC MLTEST Code Check ツールを活用し、お客様にて運用することが可能ですが、ZIPC MLTEST Code Check ツールの利用には、エンジニアリングサービス契約が必要となります。

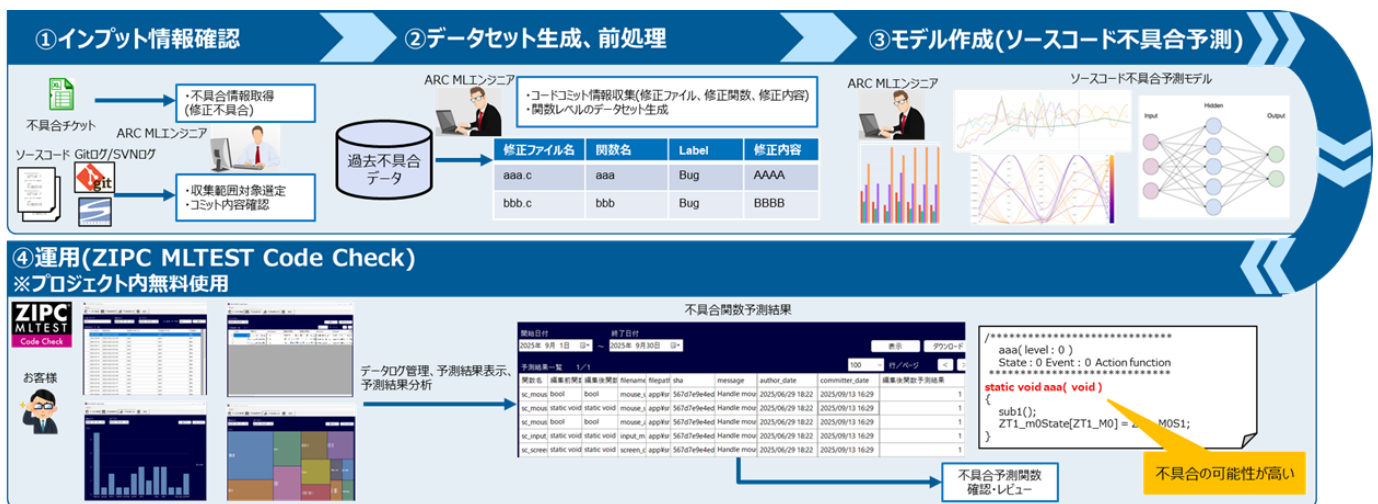
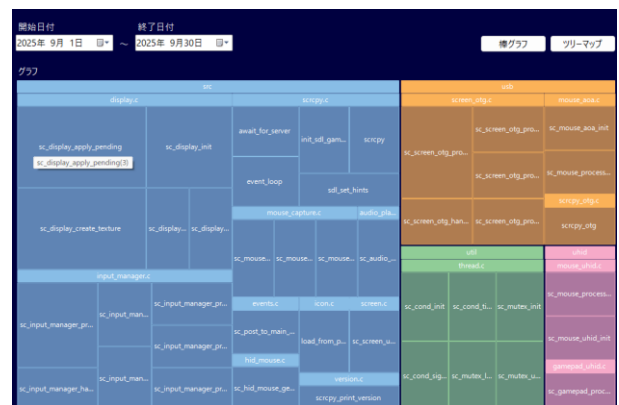
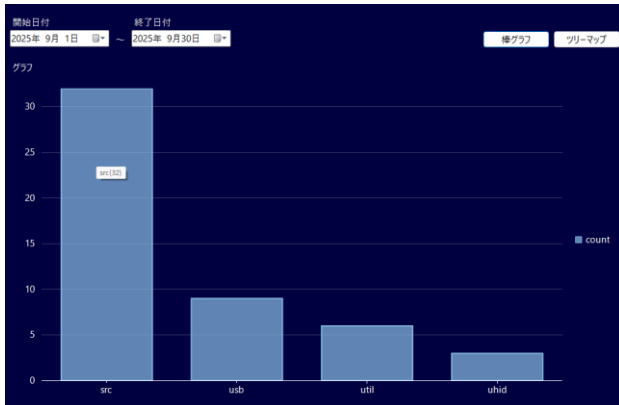


図:ZIPC MLTEST Code Check 概要

< 予測結果一覧画面 >

予測結果一覧 1/1								100	行 / ページ	<
関数名	編集前関数	編集後関数	filename	filepath	sha	message	author_date	committer_date	編集後関数予測結果	
sc_mous	bool	bool	mouse_u	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_mous	static void	static void	mouse_u	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_mous	bool	bool	mouse_u	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_input	static void	static void	input_m	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_scre	static void	static void	screen_c	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_mous	static void	static void	mouse_u	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_hid_r	bool	bool	hid_mou	app\$sr	567d7e9e4ed	Handle mouse	2025/06/29 18:22	2025/09/13 16:29	1	
sc_displ	bool	bool	display_c	app\$sr	af70cf4fc071c	Set color ran	2025/07/03 19:04	2025/09/13 16:29	1	
sc_displ	static boo	static bool	display_c	app\$sr	af70cf4fc071c	Set color ran	2025/07/03 19:04	2025/09/13 16:29	1	

<予測結果分析画面>



ZIPC MLTEST Code Check の事例

一部予測できなかった関数は存在しているものの、平均的に高い精度となっています。(Recall は平均 93.5%、Precision は平均約 73.9%)

Value	意味
Recall(再現率)	実際のBugがどれだけ正しく予測できたかの割合
Precision(適合率)	Bugとして予測したものが実際Bugと分類できた確率

ZIPC MLTEST のラインアップ・今後の展開

ARCではAI分析によって、テスト項目・テスト機能・テスト観点・テスト実施・コード欠陥抽出を自動化し、テストプロセスを早期に速く実施することを可能とするとともに、品質精度を高めるツールとしてZIPC MLTESTシリーズをリリースしていきます。

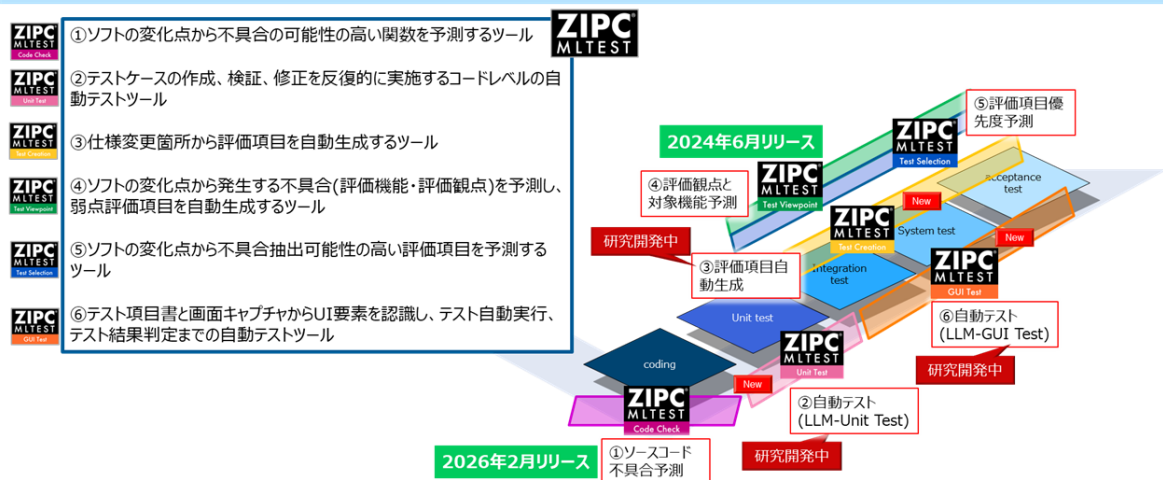


図:安全かつ効率的なソフト開発を支援する ZIPC MLTEST ラインアップ

ZIPC MLTEST シリーズの機能拡充について

ZIPC MLTEST は、2024年6月に評価観点と対象機能を予測する ZIPC MLTEST Test Viewpoint をリリースしました。今回リリースする、ソフトの変化点から不具合の可能性の高い関数を予測する ZIPC MLTEST Code Check は第二弾機能のリリースで、今後も機能拡充を進めていきます。なお 2026年度中に以下 4 機能を順次リリース予定です。

① ZIPC MLTEST Test Viewpoint アップデート

評価観点と対象機能を予測する ZIPC MLTEST Test Viewpoint のアウトプットをもとに、弱点評価項目を自動生成するツールを提供予定です。

現在の ZIPC MLTEST Test Viewpoint のアウトプットは評価観点と評価対象機能となっており、結果から人がテスト項を作成する必要がありますが、本アップデートにより自動で弱点評価項目を生成することが可能となります。

② ZIPC MLTEST Test Creation

仕様変化点情報から評価項目を自動生成します。評価設計コスト削減、評価実施までの期間短縮が可能となります。

③ ZIPC MLTEST Test Selection

ソフトの変化点から不具合抽出可能性の高い評価項目を予測します。より不具合が発生しやすい評価項目から評価を実施することで、不具合が早く見付き、品質を早期に安定させることができます。また、大量にある評価項目からNGになる可能性が高い評価項目に絞って評価ボリュームを削減することも可能です。

④ ZIPC MLTEST GUI Test

評価項目書と画面キャプチャ情報からUI要素を認識し、評価対象製品に対し評価自動実行、評価結果判定までを自動化します。新規試験項目でも期待値画像無しで自動実行が可能となり、テスト効率化を図ることが可能となります。

* 本リリースに記載されている内容は予告無く変更することがあります。

* 「ZIPC」は株式会社NTTデータ オートモビリティ研究開発研究所の日本、欧州、英国、米国、中国における登録商標です。

* 「MLTEST」は株式会社NTTデータオートモビリティ研究開発研究所の日本における登録商標です。

* 「ZIPC MLTEST」は株式会社NTTデータオートモビリティ研究開発研究所の日本における登録商標です。

* その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

* 本文に使用している<予測結果一覧画面>、<予測結果分析画面>の図は、公開ソースの「<https://github.com/Genymobile/scrcpy.git>」を使用して実施したイメージとなります。

* 「ZIPC MLTEST」の詳細は弊社Webサイト内 ZIPC ML TEST ページを参照ください。

URL. https://www.zipc.com/jp/tools/zipc_mltest/

【本報道に関するお問い合わせ先】

株式会社NTTデータ オートモビリティ研究開発研究所

経営企画部 広報担当 奥田、中島

Tel. 045-473-2667 (代表)

E-mail. info@zipc.com

URL: <https://www.zipc.com/>